

次は、2年生です。これまでの学校生活を「思い出のアルバム」の替え歌にのせて劇や呼びかけ、ボディパーカッションなどで表現してくれました。それぞれ工夫されていて見ていると楽しい気持ちになりました。

3年生は、歌とメッセージボードにのせて感謝の気持ちをあらわしました。そして、3年生の音楽の時間に学習した「パフ」をリコーダーで演奏しました。やさしい歌とローマ字でのメッセージが印象的でした。

4年生は、クラスごとに6年生の素晴らしいところや中学校に向けてのエールを劇で表現していました。呼びかけの声にとっても迫力があり、6年生にしっかり伝わったと思います。

6年生からは、在校生に向けて国語で学習した谷川俊太郎さんの詩「生きる」の発表がありました。また、中学校区で取り組んだ人権フォーラムで考えたことを伝えました。

最後は、6年生から在校生への引き継ぎの式です。

6年生の思いをろうそくの灯りにこめて、3つのことを伝えました。

ひとつ目は、一緒に過ごす仲間のことに関心を持ち、おたがいのことを認め合う。

ふたつ目は、人とのちがいを間違いと思わずに自分の個性を大切にする。

みつ目は、どんなことも他人事とせず、自分事として考える。

在校生にしっかりと伝わったと思います。

全校が体育館に集まり、このような会を開くのは何時ぶりのことになるでしょうか。どの学年もしっかり取り組み、気持ちをこめて表現することができていました。また、集中してそれぞれの発表を観ることができていました。

6年生だけでなく、在校生にとっても心に残る会になったことでしょう。

